

畜

産

Mini Letter



牧草 10

発行：渡島農業改良普及センター（本所） | 【電話】 0138-77-8242

今号

- 基本チェック
- 生産者の事例
- トレンド情報
- その他

地域の畜産農家・関係機関・普及センターが技術情報を通して結ばれるよう、2016年4月に誕生！『基本チェック』、『生産者の事例』、『トレンド情報』の3ジャンルを中心にお届けします。

「シロクローバ」を上手に扱い 草地の評価を上げる

サマリー

- 当地区の牧草地にある“クローバ類”（アカクローバ含む）には、ある共通した特徴が観察される。
- 一般にクローバ類が混播されていると、「収量性」「雑草対策」「牛の栄養利用」等において有利性がある。
- 混播バランスを保つには「シロクローバ」の選び方、更新後の肥培管理（窒素施肥量）を再考する。

草地更新の最初が肝心

- マメ科草のクローバ類は「過繁茂して邪魔」、「増えると(収穫後)乾かない」、「エサとして使いにくい」等と嫌われ、当地区にはイネ科草の“単播”を好む農家も多いですが、草地の脇役でありながらも、重要な役割を果たしています。
- 晩夏～初秋は草地更新の適期となりますので、今号では「シロクローバ」を取り上げました。基幹イネ科草と相性の合う品種を選び、翌年以降は意図しているクローバ割合を目指し、“マメ科率”に対応した肥培管理に切り替えましょう。

脇役「シロクローバ」の良いところ

- 農家各々(の牛群)が目指している、シロクローバ割合は違いますが、いま一度、混播草地の特性と利点を確認しましょう。



肥料コスト

【ウラ面参照】

空中窒素の利用で、肥料節約！
★単播より、**少ない**窒素肥料



「ほふく茎」を伸ばす！
★“裸地”を埋めていく

種子由来の**雑草**の侵入と拡大を防ぐ

草地が長持ち

配合飼料、リンカル剤
給与量**低減**
★飼料コスト減

栄養利用の有利性

でんぷん質飼料と
組み合わせやすい
★とうもろこし類



経年化による
収量低下を緩和

“刈り遅れ”によって生じる**栄養ロス 緩和**

高タンパクで、カルシウム等の
ミネラルが豊富



- クローバ等のマメ科草は、根に共生する“根粒菌”が作り出す窒素成分を受け取り、自身の生長に利用
- 年間の窒素固定量は10a当たり20kg前後ともいわれており、その一部を混播草地のイネ科草にも供与

当地区で見かける「シロクローバ」の姿 ……どうして？

- 更新後に「シロクローバ」の増加し、“混播バランス”が崩れる要因としては、①品種選択の違い(草種同士の相性が悪い)、②肥培管理(更新初期の窒素施肥量の不足、施肥したBB肥料銘柄のミスマッチ等)が、考えられます。

競合力の強い品種を播種したの？
「シロクローバ」の草勢が凄すぎるわ…



「シロクローバ」が過繁茂した新播草地 (HI地区：2020.9.24)

窒素施肥量が少ないのかな？
イネ科草が相対的に弱々しいわ…



「シロクローバ」が島状となる秋の草地 (HF地区：2017.10.12)

イネ科草と混播バランスを保つ秘訣

- 牧草は、長期利用するのが前提です。品種の競合力も考えて、「シロクローバ」のタイプを慎重に選びましょう。
- 茎葉が大きいほど、生育旺盛となる傾向にあります。“大葉型”は、「チモシー」との混播には不向きです(下表)。



草種／早晚性	大葉型	中葉型	小葉型
オーチャードグラス	◎	○	—
チモシー	極早生	△	◎
	早生	—	◎
	中生	—	◎
	晩生	—	◎

(混播適性) ◎:優 ○:良 △:可

※種苗メーカーのカatalog等を参考にす

…品種選び、更新後の窒素施肥量

- 施肥での“窒素コントロール”が重要です。年間に必要な窒素分量は、マメ科率の差によって3~4倍も違います。
- 牧草の飼料として、「シロクローバ」をあまり必要としないなら、下表の青枠に近い窒素分量とし、肥料を選びます。

【採草地／道南】～台地土・低地土・火山性土						
オーチャード	マメ科率 *1	窒素	最大差	りん酸	カリ	
	15~30%	6	3倍	8	18	
	5~15%	10				
	5%未満	18				
チモシー	マメ科率 *1	窒素	最大差	りん酸	カリ	
	30%以上	4				4倍
	15~30%	6				
	5~15% *2	10				
	5%未満 *3	16				

*1: 1番草の生草重量割合(アカクローバ含む) (単位:kg/10a/年)

*2: 10a当たり施肥例 B124(N11-P12-K24%) 早春50kg+追肥25kg(窒素: 8.3kg/年)

*3: 10a当たり施肥例 B702(N17-P10-K22%) 早春60kg+追肥30kg(窒素: 15.3kg/年)

【マメ科草を多く含む牧草類の給餌で留意する牛群の例】

- ①乾乳後期の飼料中ミネラルバランスの崩れ(高カリ、高カルシウム) ②和牛繁殖めすの過肥(高TDN)

その他

■ 秋の播種晩限・播種量、更新時の施肥量について、また、「アカクローバ」にも幾つかの品種と混播適性があります。条件等を伝えて、ご相談ください。

【出展／参考文献】

- 『HOKUREN SEED CATALOGUE 2020』(ホクレン)
- 『雪印種苗の牧草・飼料作物 品種解説と栽培の手引き2021』
- 『北海道施肥ガイド2020』/北海道農政部

○詳しくは、渡島農業改良普及センター本所/畜産担当まで、お問い合わせください | 【電話】 0138-77-8242



渡島農業改良普及センター
ホームページ (トップ)

ダウンロードはここから(PDFファイル)

渡島 営農技術情報

検索

<http://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/tec/tikusan.htm>